

新宮木協コミュニケーション誌

No.136 1/1



新宮

木協だより

2016年(平成28年)

(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号

TEL. 0735-22-6105(代)

FAX. 0735-22-6107

URL: <http://www.shingumokkyo.com> e-mail: s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp



賀
正

木霊塔と共に(杉 樹齢百年以上)

献木者: 岡崎 武人 氏・長男 岡崎 俊樹 氏

(株)新宮原木市場 新春初市 1月19日(火)午前10時開市

ホームページ随時更新中

新宮木材協同組合

検索



新年のご挨拶

新宮木材協同組合

理事長 植松 浩

明けましておめでとう
ございます。旧年中は組
合運営に格別のご指導と
ご協力を賜り誠にありが
とうございました。本年
もよろしくお願い申し上
げます。

さて、新年の御挨拶で
は過去の新宮木材業界の
事柄やその年の和歌山県
内における木材関連の動
向等、地元に関係のある
事を紹介することが多か
ったのですが、今年はず
材業界のトレンドの1つ、
木質バイオマス発電につ
いて述べさせていただきます。

林野庁では木材自給率
等木材需給に関するデー
タを集約・整理した「木
材需給表」を毎年取りま
とめておりますが、平成
二六年からは木質バイオ
マス発電施設等にエネル
ギー利用された燃料用チ
ップについて、新たに「燃
料用チップ等用材」とい
う項目を設けた上で計上
することにしました。こ
れは木質バイオマス発電
施設の稼働が本格化して
くる中、当該木材が我が
国の木材需要・供給に与
える影響は大きくなって
いくと考えられるため、
との事です。

(一社)日本木質バイ
オマスエネルギー協会が
作成した資料によると、
平成二七年三月末時点で
稼働中の木質バイオマス
発電所は22件、稼働予
定が80件(計102件)。
発電にどれだけの木材
が利用されるか一例をあ
げますと、当組合が昨年
一月研修に行った三重県
松阪市の木質バイオマス
発電所の場合、年間利用
量はチップ絶乾5万7千
t、丸太7万t、材積に
換算すると8万5千m³と
の事でした。

このような発電所が稼
働予定も含め全国で10
2件、さらに平成二七年
四月から木質バイオマス
発電における固定価格買
取制度の調達価格に小規
模発電の区分が新設され、
単価が従来より高く設定
された事もあり、今後ま
すます木質バイオマス発
電所が増加する事が予想
されます。

今まで稼働及び稼働予
定の木質バイオマス発電
所が近隣になかったので、
なにか対岸の火事のように
に見ておりましたが、「木
を見て森を見ず」という
言い方が適切かどうかは
わかりませんが、地元木
材業界だけではなく全国
のトレンドも考慮に入れ
ておかねばと新年を迎え
るにあたり改めて思った
次第です。

最後になりましたが今
年一年が皆様にとつてよ
り良い年になることを祈
念し、重ねてご指導・ご
協力をお願い申し上げます、
新年のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

本年も
よろしくお願
い
申し上げます

組合員一同

五十周年を迎えて

株式会社 新宮原木市場

代表取締役社長 瀧岡 俊太

平素は当市場運営に際し格別のご高配賜り誠にありがとうございます。

皆様方のご指導ご支援により五十周年を迎えることができましたこと深く感謝申し上げます。

さて、昭和四一年(1966年)一月四日、当市場は株式会社として設立され、平成二七年(2015年)一月に五十周年を迎え、去る四月十八日において春の熊野木まつり記念市に併せて五十周年を祝した市開催をいた

しました。

私自身、故郷に戻り家業の製材業に従事したのが十五年前、程なく市場での競りに参加いたしました。その後、当市場の取締役を平成十八年(2006年)から引き受け、平成二四年(2012年)から代表取締役社長をさせていただくこととなりました。

五十周年を迎えるにあたり、私の知る十五年で、またその間に九年の役員従事を経る中、当市場は衰退の一途を辿り、盛況

を欠く事態に至りました。

外部環境の変化、マクロ環境は内地材需要低迷から自給率向上目的で、集成材、合板、新建材、紙パルプといった需要構成に、バイオマス発電の燃料としての需要が加わり、元来の建築用材主体の需要体系から現在はその需要量を基点として燃料用材が主体となったと言える状況まで変化いたしました。二酸化炭素排出削減等の環境問題を受けて、これまで森林とは切ったら植えるという概念でしたが、林転政策による樹齢七十年以上の人工林が伐採されるのを待つ状態となり、これからは植えるために切るという新たな植栽のために、

需要を生み出し、切って利用する政策へと転換し始めました。一方、ミクロ環境は地域林業従事者の減少、製材工場の閉鎖が続く、当市場での取扱数量も大きく減少いたしました。また周辺地域でも木材バイオマス発電事業が開設され、その需要量が独歩しているもの、いずれは需給バランスが崩れることが予想されます。

それでは、五十年継続されてきた当市場事業を次の五十年に繋いで行くにはどうすればいいのか、その問いに現在は具体的な目標は持てず、やるべきことに対する術もその目標がないのでは見つけることもできない状態と

なっております。今はただ目前の課題に一つ一つ対応し、将来的な目標を見つめるべく、懸命に取り組むしかないと思っております。何ができるのか、考える時期なのかもしれません。具体的対策がない以上、現在の状況を理解し、慌てず、考えて、議論して、実行する、これらは容易ではないですが、継続する以上、直面する課題に『やるのかやらないのか』あるいは『やったかやらなかったか』だと思えます。

今後とも皆様の一層のご指導ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

キャラバン活動

公共建築物に於ける紀州材の利用促進を図るため和歌山県木連、和歌山県森連、紀州林業懇話会で組織する和歌山県木材利用推進協議会では、例年近隣自治体を訪問してキャラバン活動を行って来ますが、今年も次の通り実施し紀州材のPRに努めました。

記

十一月九日(月)

午後三時

那智勝浦町を訪問

午後四時

新宮市を訪問



新宮市役所にて

全員懇談会

平成二十七年十一月十九日(木)午後四時から全員懇談会を開催致しました。内容は①新宮・紀宝道路の件、②組合財産保存の経過についての二点でした。①については本年三月に全員説明会を開催して以来となることから、その間の経過について当局からボーリング調査や下貯木場の嵩上げ要望等について説明し意見交換を行ないました。又、②については先輩方から引継がれてきた今回の新宮・紀宝道路のルートとなる上貯木場と下貯木場の取得や保存の経緯等について当局から説明し、意見交換を行ないました。

今後共、新宮・紀宝道

路の進捗状況に応じて全員懇談会等の機会を設けて行くこととなりました。



懇談会の様子

合法木材等

供給事業者研修会

木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドラインに基づく森林・林業・木材業界関係団体等による合法木材等の供給について、調達側からの要請に 대응してその信頼性を確保するため、合法性等の証明された木材の普及促進事業

の一環として全木連は、認定団体および認定事業者の責任者などを対象とした研修を実施すること

となっており、和歌山県木連の高井専務が講師となり標記講習会が次の通り開催されました。議題終了後、全国の先進的な木造建築等が納められたDVDを鑑賞し、同研修は円滑に終了致しました。

記

日時

十月六日(火)

午後一時三〇分

場所

新宮木材会館大会議室

議題

- ①違法伐採問題への林材業界の取組
- ②発電利用に供する木材バイオマス証明ガイドラインについて

全木協連会長賞受賞

山下 充洋 氏

十月二十九日(木)三重県津市の三重県総合文化センターで行なわれた第五〇回全国木材産業振興大会に於いて木材産業功労者として当組合監事の山下充洋氏が全木協連会長賞を受賞し、表彰式に出席されました。



表彰を受ける山下氏

桜井会団との交流会

平成二七年十一月二八日(土)、紀南木材新緑会と桜井会団との間でお互いの親睦を深める意味で交流会が行なわれました。午後一時より三重県の野地木材工業㈱の各工場を見学しました。産地材の製造工程を見てもらい製品へのこだわりや木材の見所や説明を皆真剣に聞き入っております。その後夕方より懇親会を行い親睦・知識を深めることができました。

(会長 竹中 俊介)



第三七回 児童生徒木工工作コンクール

平成二七年九月二六日、二七日の両日、児童生徒木工工作コンクールを開催しました。459名と前年度を超える多数の方が見学に来られました。去年より新たに行った風船釣りは好評でした。本展では二二校の木工作品を展示し、上位三点は、福井県で行われる全国大会に出品する予定です。木工展に協賛いただいた各団体の方々、各小中学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。

(三島 彬)

見学風景



作品見学風景



審査風景

出張

木工教室

紀南木材新緑会では新宮市及び東牟婁の小学校を対象に、木のぬくもりに触れ、木に親しんでもらうことを目的として、出張木工教室を開催しました。

本年も、森林インストラクター等の協力を得て、校庭にある実際の木を前に説明等を行なうことでより「木」というものの知識を深め、木に親しんでいただけました。改めて、参加頂いた全ての皆様に、御礼申し上げます。

(瀬古 伸一郎)



新戦争論
池上彰・佐藤優共著
僕らのインテリジェンスの磨き方

・佐藤・今の世界を見回した時、私の印象は、クラウゼヴィッツの「戦争論」はまだ古くなっていない、というものです。プロイセンの軍人だったクラウゼヴィッツがナポレオン以降の近代戦争を初めて体系的に研究し、没後の一八三二年に刊行された、戦争と政治のかかわりを包括的に論述している軍事理論の古典的な名著です。そのポイントとは「戦争は政治の延長である」というテーゼにあります。ベルリンの壁崩壊から四半世紀が経ち、戦争と政治の境界線が再びフアジーになっていきます。「核兵器が作られて以来、クラウゼヴィッツは無効になった」「核兵器は人類の滅亡させるところへ行くから、もう大國間の戦争はなくなった」というのが、ついでこの間までの常識でした。が、どうやら人類は核を封印しながら、適宜戦争をするという文化が新たに生まれてきているのではない

でしょうか。まさに「戦争は政治の延長である」といえます。

・池上・佐藤さんとの対談は多岐に涉りました。この世紀をどう読み解くか、それが本書の主題です。そこで題名をクラウゼヴィッツには及びませんが「新戦争論」としました。※まずは二人のエールの交換です。

・佐藤・池上彰氏はジャーナリストとして職業的良心に基づいて一貫して行動出来る人、氏は混沌とした二一世紀の日本で人に真理を伝えることを使命としている。

・池上・佐藤優氏はロシアの専門家ということもあり、ロシア正教や周辺諸国の言論事情に精通している。プーチン大統領やその周辺の政治エリートの発想についての解説は実に興味深い。

：既に世に知られた池上氏はさておき、佐藤氏について若干補足しておきます。彼は一九八七年八月から七年八カ月を外交官としてモスクワで過した。大使館では、内政と民族問題を担当した。その時構築した他国の要人との信頼関係を基にした情報

報収集力とその発言、発信力は稀有な存在感がある。

・「新戦争論」はいま最もホットな「民族と宗教の問題」特にイスラム国 (IS) 問題をはじめ、世界情勢を多岐に涉り分類し論点としています。現在の日本にとって対中国といえは尖閣問題です。実効支配的既成事実を積み重ね領土問題あり、とする中国に対し、ありえないとする

日本では大きな懸隔(けんかく)があります。この問題について佐藤氏は日中国交正常化交渉(一九七二年)の際、当時の高島益郎条約局長が周恩来にとった台湾を介在にした水際戦術の方策を一つの突破口として推奨しています。周恩来首相の高島氏に対する外交史上有名な過褒とも思える逸話があります。詳細は P192~P193

を御覧下さい。：その他、今世界は拝金教(佐藤氏)であるというユニークな見解に対し (P72) 次頁で、池上氏の簡単なコメント論評があります。

・今後世界情勢をよく知ろうとすれば、通時性に於ては歴史を知り、共時性に於ては国

際情勢を知ること。知識に於ては新聞を読みこなし代理経験をして時代の耐性を身につけること。(佐藤氏)ヘーゲルは歴史は繰り返すと。二回目は喜劇として…(両者)※サブタイトルのインテリジェンスとは「知性」でなく「特殊情報」のことです。

自伝的エッセイ

「職業としての小説家」

村上春樹 著より
「オリジナリティ」について

私自身がオリジナルと呼ぶ基本的条件とは

- (1) 他の表現者と明白に異なる独自のスタイル
- (2) そのスタイルを自らの力でヴァージョンアップできなくてはならない。
- (3) そのスタイルは時間の経過とともにスタンダード化し、人々のサイキ(精神)に吸収されて、後世の表現者の豊かな引用源とならなく

てはならない。…ということ。具体例で考えていくと、初めてビートルズの曲をラジオで聴いた時、確か「プリーズ・プリーズ・ミー」だったと思いますが、身体がぞくぞくとしたことを覚えています。それがこれまで耳にしたことのないサラウンドであり、実にかっこよかったからです。僕が十五才の時です。その時の感興・感動がその時点の年代に見合ったオリジナルなのでしよう。…で、何がオリジナルで何がオリジナルでないか、その判断は、作品を受取る人々(読者と「然るべく経過された時間」との共同作業に一任するしかありません。こうはいっても、私自身或る覚悟の中で申し上げねばなりません。僕の作品が多く文芸評論家から嫌われ、批判されてきたという事実です。ある高名な評論家からは「結婚詐欺」呼ばわりされたこともあります。多分「内容もないくせに、読者を適当にだまらかして」いるということなのでしよう。小説家というのは多かれ少なかれ手品師のような部分がありますから。しかし

◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	平成27年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	5,800 (5,300)	5,800 (5,600)	6,200 (6,000)	4	6~13
	3m 14~20	8,600 (10,900)	7,900 (9,300)	7,700 (9,100)	3	14~20
	3m 22cm上材	10,000 (12,100)	11,300 (10,800)	10,800 (11,100)	3	22~
	4m 14~22	8,800 (10,900)	8,600 (9,800)	9,100 (9,600)	4	14~22
	4m 24cm上材	14,000 (14,000)	12,700 (13,800)	11,900 (12,600)	4	24~
檜	4m 小丸太材	5,600 (5,200)	5,300 (5,200)	5,300 (5,800)	4	6~13
	3m 14~20	10,000 (12,900)	9,200 (9,300)	8,100 (9,800)	3	14~20
	3m 22cm上材	22,800 (15,900)	12,900 (13,000)	10,900 (14,700)	3	22~
	4m 14~22	12,700 (11,800)	12,200 (9,300)	11,400 (11,200)	4	14~22
	4m 24cm上材	24,600 (24,900)	20,600 (22,100)	22,600 (17,700)	4	24~
杉総平均単価		11,500 (12,200)	10,700 (11,800)	9,500 (10,600)		
檜総平均単価		17,800 (15,100)	16,800 (13,900)	15,000 (12,600)		
総平均単価		13,200 (12,800)	12,200 (12,500)	10,700 (11,500)		

(株)新宮原木市場
第五〇期
定時株主総会

八月二六日、新宮木材会館に於いて(株)新宮原木市場の第五〇期定時株主総会が開催され、提出議案

はすべて原案通り承認可決され、監査役任期満了につき選任の件では長きに亘り当市場に貢献された田野上之保氏、吉田一茂氏が勇退されました。永年に亘り尽力されたこと厚くお礼申し上げます。また、新たな監査役として稲垣幸二氏、山下充

m³単価 () は平成26年度



総会風景(監査挨拶)

代表取締役社長 瀧岡 俊太
代表取締役 植松 浩
取締役 谷口 泰仁
取締役 森谷 功
取締役 岡崎 武人
取締役 谷畑 光彦
取締役 稲垣 幸二
監査役 山下 充洋

洋氏が加わりました。

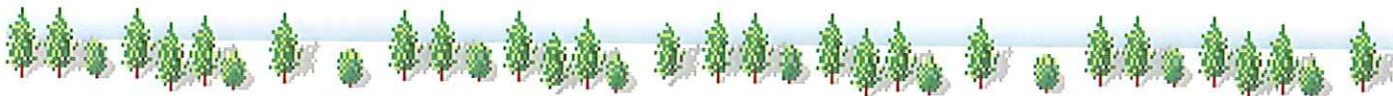
組合事務局の月一回休業
(土曜日)のご案内
(一月~六月)
一月二三日(土)
二月二七日(土)
三月二六日(土)
四月二三日(土)
五月二八日(土)
六月二五日(土)

事務局
年末年始休業のおしらせ
十二月三十日(水)
~一月五日(火)

行事予定
◆一月十九日(火)
(株)新宮原木市場
新春初市
午前一〇時~
◆一月三十日(土)
ポウリング大会
午後五時三〇分~
◆二月八日(月)
末社語り
午前一〇時~

言われる方からは正直いってあまり愉快なものではありません。手品師はちゃんとした生業だけど、結婚詐欺というのは犯罪ですから。まあたとえネガティブであれ、しっかりと反応を引き出した方がいいじゃないかと。ポーランドの詩人ズビグニエフ・ヘルベルトは言っています。「源泉にたどり着くには流れに逆らって泳がなくてはならない。流れに乗っていくのはゴミだけだ」なかなか勇気づけられる言葉ですね。...この間ニューヨークタイムズに、デビュー当時のピートルズについてこの様に書いてありました。「彼等の創り出すサウンドは新鮮で、エネルギーに満ち、そして間違いなく彼等自身のものだった。」とてもシンプルな表現で、これがオリジナルの定義として一番分かりやすいかもしれません。...この本の最後は村上夫妻と公私共に親交の深かった元文化庁長官で精神分析学者の河合隼雄先生への哀悼とオマージュで閉じられています。
(総務委員 瀬古 稜)

第 56 回木霊塔建立供養式



10 月 15 日組合恒例の木霊塔建立供養式を開催致しました。今年は当組合理事で製材業を営む岡崎武人氏から、杉 100 年生の素晴らしい木霊塔をご献木頂きました。

当日は快晴の下、清水文雅本廣寺住職にお勤め頂き滞りなく厳かに供養を執り行ない式典終了後は、木工展表彰式、紀南木材新緑会員に木協組合員も加わった木遣り音頭 (本年は 1 番、2 番、3 番の歌詞で) の披露その後餅投げを行ない、最後に来賓の皆様と親交を深める懇親会を行いました。その後組合員、新緑会員一同で後片付けの後、慰労会にて無事行事を終了致しました。



献木者 (岡崎氏) と木霊塔



木霊塔揮毫
(献木者と鈴木江郎先生を囲んで)



盛大な餅投げ

編集後記

◇ 新年を飾る表紙は木霊塔の献木者岡崎武人さんと長男の俊樹君に登場頂きました。三十年前には武人さんの父武久さんに献木をお願いしておりますので二代続けての献木に喜びも一入 (ひとしお) だと思われます。将来の三代目献木も期待しております。

◇ 今年の干支は申 (さる) です。さると云えば日光東照宮の見ざる、聞かざる、云わざるが有名ですが何もしないでじつとしていても朗報は届きません。しかし、動いても猿芝居や猿真似と云われないよう注意しましょう。(自戒)

◇ 平成二五年に事業化されて以来、新宮・紀宝道路の問題が当組合にとって最重要課題となっております。明治時代より木材の集散地として栄えてきた木

材業の根幹とも云える貯木場が大きな影響を受けることは業界の将来を左右する重大な案件です。今後共皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

◇ 原木市場が創立以来ちようど五十年を迎えました。この間の木材界の盛衰に伴ない原木流通の要としてその役割を果たしてきましたが、時代の流れと共に厳しい荒波にさらされております。これからの原木流通の新しい姿について関係者で真剣に検討しなければなりません。

◇ 昨日 (さくじつ) を送りて今日 (こんにち) を迎え、今日を送りて明日 (みょうにち) を迎う。「人生の収支は、今日一日の積み重ねによる」佐藤一斎 (言志晩録) より

— 穏やかな佳きお年を
お迎え下さい —